

【所属名：市民部環境生活課環境係】

## 会 議 録

件名	令和元年度 第1回 糸魚川市廃棄物減量等推進審議会				
日	令和元年8月9日(金)	時間	9時30分から 11時30分まで	場所	市役所 203・204 会議室
出席者	・委員名【出席】 武田委員、中山委員、小野委員、齋藤伸一委員、小野垣委員、松澤委員、中澤委員、斎藤富喜子委員、大月委員、青木委員、葉茸委員 【欠席】 荒木委員、福崎委員、久保田委員、山本委員、石井委員、松木委員、園田委員				
	・事務局【環境生活課】 高野課長、小竹係長、横澤主査 【ガス水道局】 谷口次長、丸山主査、田中主任主事				
	傍聴者定員		—	傍聴者数	0

### 会議要旨

(1) 開 会 (進行：小竹係長)

(2) あいさつ (高野環境生活課長)

(3) 審議会委員について 2名交代 扇山委員から小野垣委員に交代  
富永委員から小野委員に交代

(4) 副会長の選出

副会長の扇山委員の交代に伴い、副会長の選出について諮ったところ、事務局一任との声があり、事務局にて案を提示し、副会長に小野垣勝男委員が選出され、異議なく承認された。

・小野垣副会長あいさつ

副会長) 案内には資料を事前配布されると記載されていたが配布されていない。

当日このような資料が配布されても内容が把握できず、審議ができないのではないか。

事務局) 資料が届いておらず大変申し訳ない。以後、このようなことのないようにしたい。

(5) 議事

①市民アンケート結果について 資料No. 3

②糸魚川市のごみ排出量の予測と目標 (案) について 資料No. 4

③糸魚川市の生活排水の予測と目標 (案) について 資料No. 5

資料No. 3 から資料No. 5 に基づき説明し、その後委員から質疑・意見をいただいた。

①市民アンケート結果について

資料No. 3

<主な質疑・意見>

委員) 3ページを見ると70～80歳代の比率が多すぎる。また、若い人の回答率が低い。バランスが悪いのではないか。また、年代ごとに考え方は異なるのではないか。

事務局) 今後はクロス集計を行い、年代別の意見も集計する予定である。

委員) 環境に関する意識が低下しているというが、高齢者が多いためそうなるのではないか。また、前は意識が高いというが、当時は新潟市などの有料化の報道があり関心が高まったためではないか。

事務局) 環境基本計画でもアンケートを行ったが、同様に若い人が少なくなっている。今後、若い人の意見も聞けるような形を取ろうと思う。

会長) 10代は学校でのアンケートの配布、20代は青年会議所での実施等工夫をする必要がある。何か回収率を上げるための改善をしないと市民の本当の意見は表れて来ないのではないか。

事務局) 環境基本計画の方でも同様の意見があり、今後、若い人の意見を取り入れるやり方を検討する。

委員) 事業系について、(23～24ページ)一般廃棄物と産業廃棄物の違いについて知っている人が多いというが、問7で産廃の処理をしていると答えた回答者が非常に少ない。質問を見ると地区の集積所に出している人が多い。また、質問の項目を見ると生活系ごみの区分になっているので、分かりづらいのではないか。産廃の品目も入れるべきではないか。事業所に関連して言うと、一般廃棄物の中に産業廃棄物と思われるものは毎日入ってきている。環境問題への意識に対して、見学会をするなどの意識向上対策を行ってはどうか。また、ごみを減らすため、(レジ袋など)民間業者に料金を取るように徹底してもよいと思う。

②糸魚川市のごみ排出量の予測と目標(案)について

資料No. 4

<主な質疑・意見>

委員) 計算式の根拠など、普通の人にこの資料を見ただけで理解することはできない。いかにもコンサルが作った資料となっており、詳しい説明が省かれている。

「そんなのは当たり前ではないか」という作り方はよくない。

3ページでは「生活系」となっているが、糸魚川市の旧計画では「家庭系」と定義されている。新しい基本計画の目標年度や計画期間の説明を入れる必要がある。

事務局) 令和2年度を起点とし、令和7年度を中間目標年度、令和11年度を最終目標年度と考えている。10年間の計画となっている。記載方法についても整理したい。

委員) 前基本計画の目標値の設定について、唐突に書いてあるが、どのように決めたかの資料を添付したほうが良い。なぜそのように見直しをしたのか、説明すべき(見直し計画ではそれが厳しすぎたため目標値を修正した。)4ページの表3中に「上記より設定」と書いてあるが、その設定方法が不明。今回の資料を受け取った委員で理解できた者はほとんどいない。

委員の方、皆様が分かるようにもっと丁寧に資料を作るべき。

事務局) 今後の資料については精査して提出するようにする。

会 長) 生活系のごみのみが対象なのか、観光によるごみやお祭りなどによる一時的なごみについて考慮されているか。

事務局) 糸魚川市で発生する、事業所やイベントなどから排出されるものも含め、一般廃棄物全てがカウントされている。

委 員) 減量の目標が、どうやってこういった数字になるのかについてだが、ごみ質を把握しているのか。人口は減っているが、世帯数との関係はどうなのか。いろいろな分析をした中での情報を提供してもらわないとわからない。

事務局) 今回は一般論になるが、ごみ減量における事業や案の意見交換を行いたい。数字につながる理論などはうまくいかないかもしれないが、新しい取り組みや改善についても意見を取り入れたい。

委 員) ある程度のデータがないと、一般論でただ取組みをどう強化するかなど話をするだけではつながりにくいのではないか。国の設定目標の見直しでさらに厳しい数値が設定されたがあったが、目標年度がどこで何が厳しくなったのか、よくわからない。資料で設定されている削減率(12%、8%、39%)の根拠はどうなのか。

事務局) これらの削減率の根拠としてはお配りした別紙に記載している。

委 員) 記載が分かりづらくなっている。

事務局) 今後資料を整理して皆様に送付させていただきたい。

#### ③糸魚川市の生活排水の予測と目標(案)について 資料No.5

<主な質疑・意見>

委 員) 平成30年度の単独処理浄化槽人口が前年度より増加している。このようなことはありえない。

事務局) 基礎数値に誤りがあったと思うので、確認する。

委 員) 県の汚水処理長期構想が出ているが、その計画との整合性はあるのか。

事務局) 県の長期構想は使用せず、独自の方法で予測している。個人設置の浄化槽の把握が難しいためである。基本的には人口動態をもとに、と考えている。

#### ④糸魚川市の一般廃棄物及び生活排水の各種施策について 資料No.6

資料No.6に基づき説明し、その後各班に分かれて各種施策についての意見交換(ワークショップ)を実施。次回会議までにワークショップで出していただいた意見をまとめて、施策の方針について固めていきたい。

#### (6) その他

事務局) 今年度は、あと2回の審議会の開催を予定している。次回については、10月中旬から11月中旬頃に予定したい。具体的な日取りは正副会長と相談させていただきたいと考えているが、1か月くらい前までには委員の皆さんにお知らせしたい。また、修正した資料についても後日送付したい。

#### (7) 閉会

小野垣副会長あいさつ